東京都立大江戸高等学校　平成２９年度　国語科　年間授業計画

１．科目名　　国語総合　　２．講座名（単位数）　国語総合（２年）（２単位）

３．教科担当者

４．使用教科書・教材　『高等学校　新編国語総合』（第一学習社）
『原色シグマ新国語便覧（増補三訂版）』（文英堂）
『新版　チャレンジ常用漢字』（第一学習社）

５．授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
１学期	４ ５ ６ ７	○随想 「十六歳のとき」 ○随想・評論 「日本語のこころ」	○国語学習のガイダンスを行う。 ○随想の読み方を修得させる。 ○筆者の経験を読み取ることを通し、「自己」と「他者」の関係に目を向け、自らの価値観や人生を相対化して見つめ直す契機とさせる。 ○具体例と一般論との関係や対比構造を把握する力を養う。 ○豊富な具体例に支えられた文章を読み、説明的文章の論旨を正確に把握する力をつけさせる。	○授業の取り組み ○定期考査 ○小テスト ○提出物など これらを総合的に評価する。	４ ８ ８ ６
２学期	９ 10 11 12	○古文入門 （用言の活用） ○随筆【徒然草】 「仁和寺にある法師」 ○漢文入門 ○寓話・小話「梟逢鳩」	○昨年度の既習事項である歴史的仮名遣いや用言の活用等、古文の基礎・基本的な知識を定着させる。 ○本作品の文学的位置づけを捉えさせる。 ○古文入門の学習内容を活用し、基本的な助動詞等のはたらきを基に、文章の内容を把握させる。 ○登場人物の人物像について考えさせるとともに、この話の面白みと教訓との関係について理解させる。 ○昨年度の既習事項である訓読のきまり等、基礎・基本的な知識を定着させる。 ○漢文入門の学習内容を活用し、再読文字を含む訓読のきまりに基に、話の筋を理解させる。 ○寓話に込められた意味を把握させる。		８ ６ ８ ６
３学期	１ ２ ３	○小説「よだかの星」	○本作品の文学的位置づけを捉えさせるとともに、小説の読み方を習得させる。 ○情景描写の中における主人公の心理表現や、主人公の心理と行動との関係を読み取ることを通し、作品の構成と主題を理解させる。 ○作品の提起する問題を主体的に捉え自分自身の問題として深く考えさせる。		６ ６ ４
				予定時数計	70